



豊の国 けいちく

修験と神楽とエコロジー

紀行

京楽の豊かな文化・自然環境を活かした地域づくりを紹介します。

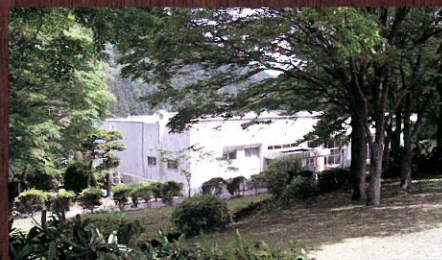
イベント情報

求菩提資料館 秋の企画展 光と風の幻想曲(ファンタジア)

～豊前市史跡ガイドボランティアの会
写真クラブ作品展～

会期 平成27年10月24日(土)～
11月23日(月)

会場 求菩提資料館学習室



求菩提資料館
場所: 豊前市大字鳥井畑247
休館日: 月曜日
お問合わせ: Tel.0979-88-3203
URL: <http://kubote-historical-museum.com>

神楽の成立と修験道 ～エコロジーとしての神楽～



英彦山(添田町)を中心に多くの山伏たちが修行に励み、我国の修験道の一大勢力であった豊前修験道。その中心的な役割を果たすのが「一山五百坊」と言われた求菩提山の山伏たちです。彼らは厳しい修行を通じて特別な力を身につけ、その法力によって病や日常に苦しむ民衆を救ったといひます。こうした力を誇示するため山伏が演じたのが、神楽の始まりでした。もともと神楽は実体の無い神様の声を聞くことが本質であったといわれ、その儀式を司ったのが山伏であったと考えられています。



求菩提の農村景観

求菩提山に修験道がもたらされたのは平安時代の末、旧宇佐郡辛島村出身の頼厳上人によって護国寺の整備などが行われ、求菩提修験道の体系が形作られました。その特徴は「千日行」と呼ばれる厳しい修行で、連続千日に及ぶ山中での修行は時に命にかかわるものでした。こうした荒行を経て山伏は精神と肉体を鍛え上げ、その力を民衆のために発揮したのでした。この修験道の思想として体系付けられている陰陽五行の考え方は、神楽を演じる上で重要な意味合いを持っていて、狐仙(御先)神楽、地割神楽、湯立神楽など豊前神楽を代表する演目にその影響を見ることが出来ます。



狐仙神楽

このように修験道と神楽の関係を見てゆくと、そこには人間生活と自然の調和(エコロジー)の上に成り立った日本独自の芸能の姿が浮かび上がってきます。その山の麓にある求菩提資料館は、全国でも例を見ない修験道専門の施設として今も多くの見学者が訪れています。

神楽と修験道、神秘的な世界を一度体感してみませんか。
※求菩提山: 国指定史跡。麓の地域は「求菩提の農村景観」として国の重要な文化的景観に選定されています。

レポーター/KURI

レポーター/HARUさん

編集後記

早いもので、京楽応援団便り21号目を迎えました。今回は、思いあたりに秋・冬合併号とし、今話題の産業遺産群を特集しました。編集をとおして、京楽地域には北九州や日本の産業を支えた人が多くいたことを知り、京楽地域のことをもっと学びたいと思いました。今後も、みなさんに京楽地域の新たな魅力を発信していきますので、春号もぜひお楽しみに。(注) 次回は、2月号皆様のお手元にお届けする予定です。



来ちゃくれ! 見ちゃくれ! 楽しんじゃくれ! けいちくで待ちましょーね!



福岡県・京楽地域
行橋市・豊前市・杵田町・みやこ町
吉富町・上毛町・築上町

『京楽応援団』 団員募集中!!

京楽を応援するファンクラブに
入りませんか?

お申し込みは京楽地域情報発信サイト

「京楽まるごとナビ」から

<http://www.keichiku.info/>



LANTERN (ランタン)

みやこ町犀川本庄 131-1
TEL 0930-42-3066
営業 11:00～14:00
定休日 毎週木曜日
駐車場 有り

some good points of this place

アイボリーの壁にベージュの瓦が葺かれた温かな風合いのお店は、平成筑豊鉄道犀川駅から徒歩5分、本庄橋の袂にあります。店内は16席、垢抜けた明るい空間が広がり、のどかな時間が流れています。

3年前にカレー専門店のお店としてオープン。現在はランチメニューを2～3種類加え、コーヒーなどドリンクはお好みでいただけます。

地元農家が育てた新鮮野菜を仕入れ、素材を生かした和風の創作料理が定番。上品な味付けは女性に人気。メニューを少しずつアレンジして、常連さんの期待に応える工夫を重ねているとのこと。またすぐに訪れたくなるお店です。

メニュー

➢ 日替わりランチ(デザート付) 850円

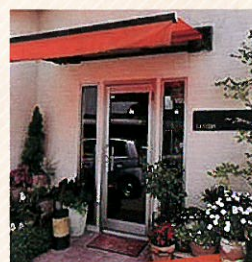
➢ コーヒーorドリンク 150円

レポーター/ヒサノスケ

話題の 食おみせ 紹介



日替わりランチ



ランタン外観

Vol. 021 2015 秋・冬

京楽応援団便り
豊の国 けいちく

発行: 京楽連帯アミエニ都市圏推進会議 事務局 (福岡県広域地域振興課内)
企画編集: 京楽応援団会報編集委員会、豊の国海幸山幸ネット
問い合わせ: 福岡県広域地域振興課 / 〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号
TEL 092-643-3178 / FAX 092-643-3164 / E-mail: koiki@pref.fukuoka.lg.jp



工場の夜景



舟路川



旧百十銀行



県立育徳館高校(黒門)



旧蔵内邸



征矢野半弥像



求菩提の農村景観



向野とうじ屋



矢方池

けいちくグループ紹介

豊前神楽集団「若楽」

「国民文化祭ふくおか2004」を契機に結成された豊前の若手神楽舞による神楽集団。現在は20人で年間10回ほど公演をしています。

伝統の神楽を踏襲しつつ、新たな神楽の可能性への挑戦が注目を集め、ジャズや和太鼓とのマッチングのステージは高い評価を得ています。

また今年11月にはハワイでの公演も予定され、伝統文化の魅力を伝えるために幅広い活躍が期待されます。

豊前神楽集団「若楽」 代表 安枝誠
問合せ 豊前市総合政策課 Tel.0979-82-1111

レポーター/にしけん

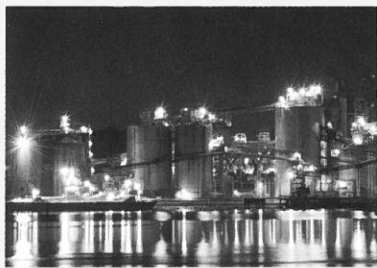


知っちゃう?京築

「京築が誇る!未来につなぐ!産業関連遺産群」

明治日本の産業革命遺産群が世界遺産に決定し、沸き立つ福岡県!京築には関連遺産はないの?と奮起した編集委員たちが、京築らしい切口で、お勧めの産業関連遺産群スポットをご紹介します!

工場夜景(三菱マテリアル 株式会社九州工場)／荻田町



大正9年(1920)、操業以来95年間荻田町の発展を支えてきた、国内最大の生産を誇る巨大セメント工場。海面に映える近未来的な工場夜景の灯りが幻想的!

レポーター/木実原

旧百三十銀行／行橋市



明治11年(1878)、大橋村(現行橋市大橋)に第八十七銀行として開業。大正3年(1914)に当時ヨーロッパで流行していた建築様式で建てられました。近代建築の父と呼ばれる辰野金吾が設計し、大正初期のモダンな様式を今に伝える情趣ある建物です。

レポーター/デンネン

舟路川／行橋市



今から約140年前の絵図にも描かれている川です。田川、みやこ町犀川からの年貢を長峽川沿いの御蔵所に納めるための堀割(幅4m長さ1km)で、今川で川舟(底が浅く平たい)のような舟に荷を積み替え、運河のように水位を調整し、運びこんでいたと考えられます。

レポーター/デンネン

県立育徳館高校／みやこ町



小笠原藩が設立した学問所「思永齋」が源流。明治3年(1870)に現在の地に「育徳館」として開校。県下最古の県立高等学校です。校内には、県指定文化財の講堂「思永館」、NEC創業者・岩垂邦彦の記念碑、夏目漱石の小説「三四郎」のモデルとされるドイツ文学者・小宮豊隆の「三四郎の森」などがあります。

レポーター/とらバアバ

征矢野半弥／築上町



豊津藩校育徳館で学び、その後、政治活動家へ。明治27年(1919)より、国政に参与し、福岡出身の農商務大臣・金子堅太郎らと官営八幡製鉄所を誘致、北九州工業地帯の基礎を築き、日本の近代化に貢献しました。築上町赤幡の「鹿の戸公園」には翁の銅像が建てられています。

レポーター/mulberry

旧藏内邸／築上町



炭鉱や鉱山を経営し、大正8年(1919)には全国6位の産出高を誇るまでに至った、藏内次郎作、保房、次郎兵衛、藏内本家三代の住宅です。良質の材料をふんだんに使い、田園の中に堂々と佇む姿に、往時の炭鉱の繁栄がしのべられます。

レポーター/もり

求菩提の農村景観／豊前市



カラス天狗で有名な「求菩提山」の麓は五穀の栽培が禁じられていた修験者の食糧供給基地であり、また糧食回りに従う強力(ごうりき)の集落でした。現存する石垣棚田、灌漑用水システム(堰上げ・アテゴシ)農作業用具を入れるツチ小屋などが近世の農村の姿を今に伝えています。最近では魅力的な森林セラピーコースとなっています。

レポーター/ヒメジャガ

矢方池／上毛町



明治11年(1878)、黒土村の庄屋、高橋庄蔵は千害等地域農業の窮地を救うため、私財を投じて池の築造を計画しました。築造半ばに亡くなり、その志を矢幡小太郎(黒土村長)が引き継ぎ難工事の末、堤唱から22年目に貯水量82万トン有する矢方池が完成し農業振興に大きな役割を果たしました。

レポーター/カジカガエル

向野こうじ屋／吉富町



明治42年(1909)創業。伝統と技術を守り続け創業当時と変わらない製法で作られる味噌は、口コミで全国から注文が入る逸品です。依頼主の持ち込んだお米を麹、味噌にする受託加工もしています。伝統食の良さを伝え、地域の味を守り続けています。

レポーター/まめしば

「豊かさの源!ひと!」シリーズ

農業で守りたい京築の大地

しげなが だいすけ
繁永 大輔さん



昭和54年(1979)生まれの36歳。築上町安武地区で約2haの水田を耕作する専業農家であり、農産物の生産から加工・販売を手掛ける「Nouhan農 繁」の代表です。

農家の長男ですが、高校卒業後は海上自衛隊に14年間在籍。艦載ヘリコプターのパイロットとして、スマトラ島沖地震での救援物資の現地空輸任務や東日本大震災での緊急出航の派遣調整等に携わったそうです。その頃、実家では農業大学校を卒業した弟さんが、地元で唯一の若手専業農家として、後継者のいない農地を引き受けて耕作していました。その姿に「20年後には地元の農業の担い手がなくなるのでは?」という不安を抱き、一念発起。31才で自衛隊を退職、新規就農者として、後継者のいない農家から田んぼを借り受け、地域の人たちと信頼関係を築きながら米作りを始めました。

「百姓とは百の仕事ができる人」稲を育てるための栽培技術、土づくりに関する化学的根拠、水路の整備などの土木仕事、販売に関する法規など経営全般に渡る様々な知識と技術が必要です。自然を相手にする厳しい

生業ですが、「米作りを続ける農家があるこそ田園風景や地域の生物多様性は守られる。農家とは、地域の環境を守るために不可欠な大地の管理人」と繁永さんは考えます。

付加価値のある農産物で農業の可能性と地域の魅力を届ける手立てとして、特別栽培認証を取得。また、県主催の商品づくりの勉強会に参加し、京築地域内外の多様な事業者との交流を深めるなかで、オリジナル商品を開発。繁永さんが作るお米「ミルキーQueen」と吉富町の南水産の「天日干しマダコ」、行橋市の大國段ボール工業の「パッケージ」がつながり、「俺のたご飯」が生まれました。

今後は、地域の休耕地をなくし田園風景を守っていくことを目的に「地元の仲間と地域農産物の研究の場として加工施設を活用し、商品づくりに取り組み、農業の可能性と地域の魅力を伝えたい」と語る繁永さん。

「農業は、決して独りではやっていけません。地域の方々の理解のもと、地域の農地を若いやる気のある者達に託して頂き、その託された者達は責任を持って次の世代にしっかりと引き継いでいく、そんな仲間を増やしていきたい」

大地を俯瞰する目で、大地を守る農業に果敢に挑戦しています。



レポーター/トヨヒメ・海山さち・mulberry

荻田町



等覚寺コスモスまつり

■日時:10月16日(金)~18日(日)
■場所:等覚寺棚田周辺、白山多賀神社、空の家

等覚寺の棚田で風にゆれるコスモス。森のコンサート(10/17 13:30開演)や夜神楽(10/18 16:00~17:30)、各種イベントの他、今年は荻田町の合併60周年を祝って棚田で60発の花火(10/18 18:30頃)を打ち上げます。

◎荻田町協働のまちづくり課 TEL.093-434-1809

行橋市



ゆくはしシーサイドマラソン

■日程:1月31日(日)
■場所:行橋市総合公園
■コース:ハーフマラソン(総合公園、築城基地 往復コース) 3km、5km(総合公園周遊コース)

遠浅の美しい海岸長い浜に、航空自衛隊築城基地。そのほか、ハーフマラソンコースには行橋の魅力がいっぱい!!!周防灘を臨むシーサイドを是非、体感しに来てください。

◎マラソン実行委員会事務局(行橋市総合政策課) TEL.0930-25-1655

みやこ町・築上町



みやこ町「お供えへ」

築上町「うすねり」

みやこ町の円座餅搗き、築上町下香楽の円座餅搗き
行橋市・みやこ町・築上町に受け継がれた、宇都宮氏ゆかりの祭事をしのぶ!

■日程:10月11日(日)午後1時頃 ■日程:12月6日(日)午後3時頃
■場所:みやこ町上木井公民館 ■場所:築上町下香楽公民館
◎みやこ町上木井自治会 TEL.0930-42-1894 ◎築上町商工課 TEL.0930-52-0001

鎌倉時代、関東武士の宇都宮信房が行橋市稲童浜に上陸後、みやこ町木井に入部。5代頼房の頃に築上町城井谷に移りました。木井神社の氏子代表が稲童の宮柱子孫のお宅へ表敬訪問神事の後、みやこ町木井でお供え餅を搗くという神事は、築上町にも受け継がれています。

豊前市・吉富町



豊前市畑

吉富町

豊前市畑のどんど焼き・吉富町のどんど焼き

■日程:2月中旬 ■日程:1月中旬~2月上旬
■時間:12:00~(火入れ19:30~) ■時間:未定
■場所:豊前市大字畑708-2 畑冷泉茶屋横広場 ■場所:吉富町各地区

もともと旧暦の小正月(1月15日)に行なわれていた農村行事です。おこもり小屋という竹とワラで作った小屋で、一週間程地域の人が交流し、その後、古いお札や注連縄をくくりつけた小屋に火を放ち、燃やして無病息災を祈る珍しい祭りです。

◎豊前市まちづくり課 TEL.0979-82-1111 ◎吉富町企画財政課 TEL.0979-24-4071

上毛町



上毛祭

■日程:10月11日(日)
■時間:12:00~20:00
■場所:大ノ瀬官衙遺跡(道の駅しんよしとみ橋)コスモス畑に囲まれた大ノ瀬官衙遺跡で開催するお祭。子ども神楽や奉納台車レースをお楽しみいただきながら、上毛の美味しい食べ物もご賞味ください。

◎上毛祭実行委員会事務局 TEL.0979-72-3111

京築神楽情報



神楽と食の祭典2015

■日程:12月5日(土)
■時間:10:00~16:00
■場所:京築神楽伝統文化会館(豊前市大字八屋1776-2)
■内容:①京築地域7団体による神楽公演 ②京築の農林水産物や加工品、ご当地料理の販売 豊かな自然が育んだ農林水産物と食、そして自然の恵みに感謝の祈りを捧げる京築7市町の神楽が大集合します!

◎京築連帯アメニティ都市圏推進会議事務局 TEL.092-643-3178

応援団イチオシの おすすめ イベント を 紹介 します。

けい ちく 秋 冬 み っ け

豊の国 けい ちく 修験と神楽ミコロジー

合併バージョン